

第 42 回定期総会後 会長挨拶

2024 年 5 月 21 日 (火)

本日、第 42 回定期総会が開催され、2023 年度事業報告・収支決算および 2024 年度事業計画・収支予算案が承認されましたことをご報告いたします。

昨年度、日漢協「漢方の将来ビジョン 2040」の実行計画「第 1 期 5 カ年アクションプラン」の進捗状況と今後の取り組みを確認するため、中間報告として取りまとめました。

本年度は、中間報告において明確になった課題の解決に向けて活動を進めてまいります。

最重要課題は、「原料生薬の安定確保と漢方製剤等の安定供給」ならびに「原料生薬から最終製品までの品質確保」であり、関係諸団体との連携のもと、協会一丸となり国内外における課題解決に取り組んでまいります。

漢方製剤等の安定供給の前提である原料生薬の安定確保については、生薬調達の 8 割を依存している中国との良好な関係を維持すべく、これまで、中国商務部傘下の中国医薬保健品進出口商会との交流を行っておりましたが、コロナ禍により一時中断しておりました。協会としては、このたび 5 年ぶりに日中交流会再開に向けて調整を図っており、11 月初旬には訪中団を結成、訪中を実現すべくスケジュール化を進めております。

また、国内で栽培可能な生薬については、引き続き薬用作物産地支援協議会の主催で農林水産省、厚生労働省のご支援のもと、国内栽培の推進・拡大に向け取り組んでまいります。

医薬品の安定供給については、コロナ禍における解熱鎮痛剤や鎮咳薬等の供給不足の影響により、漢方製剤等に大きな需要が発生したことで、限定出荷を余儀なくされるなど安定供給に支障をきたす事態となりました。

現在もなおご迷惑をおかけしておりますことを、あらためましてお詫び申しあげますとともに、出来るだけ早期に通常安定供給体制となるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

今般、2024 年度薬価改定において、保険医療上の必要性が高い品目の安定供給の確保につながるための薬価上の措置として、特例的に不採算品再算定が実施されました。

厚労省、日薬連、中医協などの関係各位が昨今の原材料およびエネルギーコストの高騰等、漢方製剤の安定供給に支障をきたしかねない窮状をご理解、ご支援いただいたことによるものと感謝いたしております。

会員会社におきましては、生産設備や生薬倉庫などの設備投資等を行い、漢方製剤等の安定供給体制の強化に全力で取り組んでまいります。

残念ながら、当協会の会員会社においても関係法令に違反する品質不正事例が起き、これに伴い行政処分を受ける等の事案が発生し、協会として当該会社について相応の措置を講じました。

医薬品の適正な品質と安全性確保のために法令遵守体制および製造管理体制の整備の徹底強化が求められている中、会員会社においてこれらの事案が発生したことは大変遺憾であります。

当協会としては、会員会社に対し、今一度協会の目的である「国民の健康への貢献」という原点

に立ち返り、一層のコンプライアンス意識の向上を醸成するために、毎年の研修会実施に加え、各社に対してコンプライアンスの取り組みに関する実態調査を徹底いたします。

今後も引き続き当協会として、原料生薬から最終製品までの品質を確保するため、会員会社における医薬品品質システムPQSおよび漢方GMPの運用体制強化への取り組みを進めていくとともに、法令遵守・コンプライアンスの徹底に向け取り組んでまいります。

当協会では、「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」を、日本東洋医学会との共催で毎年開催しております。

2023年度は、本年2月19日に「コロナ後の医療における課題と漢方薬の必要性」をテーマに、高齢者のフレイルの増加に対する漢方薬の必要性および漢方製剤等を取り巻く課題についてご発表・ご討議いただきました。

今後も、当研究会を漢方製剤等に係る諸課題を検討する貴重な機会として位置づけ、国民の皆様の健康と医療に寄与すべく、有益な情報発信を行ってまいります。

セルフメディケーション税制については、2026年まで延長されましたが、税制の恒久化や全ての一般用漢方製剤および生薬製剤を対象とすること等を引き続き要望してまいります。

また、女性の心と身体の健康課題への対応として、トウキやセンキュウ等の生薬を配合した製剤は、フェムテックとしての利活用が期待されており、これらの啓発活動を進めてまいります。

最後になりますが、当協会は、今後とも会員相互の密接な連携のもと、高品質な漢方製剤等の安定供給、さらなる安全性の確保と適正使用の推進を通して、国民の皆様の健康と医療に貢献すべく努めてまいります。

関係各位におかれましては、引き続き、当協会へのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上